

教科目名 保健・体育 (Health & Physical Education)

学科名・学年 : 全学科 2 年

単位数など : 必修 2 単位 (前期 1 コマ, 後期 1 コマ, 授業時間 43.5 時間)

担当教員 : 川内谷一志, 内倉康二, 古澤里司 (全クラス担当)

授業の概要			
<p>スポーツテスト (運動能力テスト, 体力診断テスト) を実施して, 個人の体力を把握させる。 スポーツテストに含まれる運動技能を向上させ, 個人技能 (陸上競技, 水泳), 対人的技能 (ソフトテニス, バドミントン, 柔道), 集団的技能 (バレーボール, サッカー, バスケットボール) における全体技能 (ゲーム) が遂行可能となるように行う。保健学習では, 「現代社会と健康」「社会生活と健康」に重点をおいて学習する。</p>			
達成目標と評価方法			大分高専目標 (A1) (B1)
(1) 基礎体力の維持・向上を目標とする。(ゲームと記録) (2) 体育実技で行った運動種目のルールを正確に理解し, ゲームを楽しむことができるようにする。(ゲーム) (3) 保健学習で行った内容を正確に理解する。(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1-3	1. バレーボール	○個人技能の習得, 班編成, ルール, 審判法の確認。	【理解の度合い】
4, 5	2. スポーツテスト	○ {運動能力テスト (4 種目), 体力診断テスト (4 種目)} を正確に測定する。	
6-9	3-1. ソフトボール (男子) 3-2. ソフトテニス (女子)	○ゲームによる技能の向上と審判法の習得。 ○ストローク, サーブなどの個人技能の習得。	
10, 11	4. 水泳	○クロール, 平泳ぎの習得。	
12, 13	5. 保健	○「喫煙, 飲酒および薬物乱用と健康」に重点をおいて学習する。	
14	前期期末試験	○筆記による保健のテスト行う。	【試験の点数】
	前期期末試験の解答と解説	○保健のテストの解答と解説を行う。	点
15, 16	6. 陸上競技	○ハードルの基本技能を習得し, 80m ハードルのタイムを測定する。女子はハードルを低くして指導する。	【理解の度合い】
17-20	7-1. サッカー (男子) 7-2. バドミントン (女子)	○個人技能の習得後, ゲームによるルール・審判法の習得。 ○個人技能の習得後, ダブルスのゲームを学習する。	
21, 22	8. 柔道	○個人技能の習得, 約束練習や簡易試合を行い, ルール, 審判法の習得。	
23-25	9. バスケットボール	○個人技能の習得。ゲームによるルール・審判法の習得。	
26, 27	10. 保健	○「交通事故およびその予防策」「集団の健康」について学習する。	
28	後期期末試験	○筆記による保健のテスト行う。	【試験の点数】
	後期期末試験の解答と解説	○保健のテストの解答と解説を行う。	点
履修上の注意	授業は時間厳守とする。		【総合達成度】
教科書	高石昌弘, 小沢治夫ほか, 「現代保健体育」, 大修館書店。		
参考図書	秋山兼範, 麻生紘二ほか, 「最新スポーツルール」, 大修館書店。		
自学上の注意	授業で行うスポーツのルールを調べておく。		
関連科目	保健・体育 (1 年, 3 年)		
総合評価	達成目標の (1) から (3) について実技と試験で評価する。 総合評価 = $0.8 \times$ (授業で行った各種目の実技点の平均) + $0.2 \times$ (保健テスト点) 総合評価は, 前期評価と後期評価を平均して評価する。授業態度により, 評価点からその 20% を上限として減点を行う。 総合評価 60 点以上を合格とする。再試験は, 実施しない。		【総合評価】 点

